

中書省樞密院

奉 旨 欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此

欽 此



八月二十日  
日曜。晴

一本部並各隊、陣地構築作業

二、河川沿河、二三名野營隊等

三、河川沿河、北河沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

四、尾崎野營隊、陣地構築、陣地構築、陣地構築

五、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

六、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

七、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

八、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

九、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

十、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

十一、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

十二、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

十三、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

十四、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

八月二十一日  
月曜。晴

一本部並各隊、陣地構築作業

二、午後休養

三、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

四、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

五、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

六、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

七、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

八、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

九、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

十、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

十一、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

十二、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

十三、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築

十四、河川沿河、陣地構築、陣地構築、陣地構築



八月二十三日  
水曜日  
江村國民  
學校

一 本朝各隊ノ陣地ヲ整理スルニ  
 二 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 三 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 四 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 五 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 六 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 七 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 八 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 九 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 十 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ

八月二十三日

一 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 二 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 三 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 四 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 五 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 六 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 七 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 八 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 九 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ  
 十 本朝各隊長及軍醫長等ヲ召集シテ陣地ノ整理ニ入ルル事ヲ

國民學校

一、（一）國民學校之種類及修業年限  
（二）國民學校之修業年限及修業年限之延長

以下各款均指國民學校而言

編定表別紙附表第三、四、五

四、國民學校之修業年限及修業年限之延長  
（一）國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

六、現在人員之數  
 生徒ニ對シテ檢制課並ニ延身奇襲ニ就テ教育スル

區分	種別	年級	計數	備考
人員	二	一	一	六

國民學校

一、（一）國民學校之種類及修業年限  
（二）國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

國民學校之修業年限及修業年限之延長

八月五日 陸軍大尉 諸江春美

一 通番司令 陸軍大尉 諸江春美

司 副官 町 曹長 畑 貴生

巡察特校 町 曹長 畑 貴生

右 陸軍大尉 通番司令 諸江春美 巡察特校 服務人

八月三日 陸軍大尉 諸江春美 巡察特校 服務人

陸軍大尉 諸江春美

八月五日

土曜日

伊豆國學校

一 本部並 各隊 陸地橋築練業

二 一 三 聯隊長殿 伊江島 背射測射 陸地橋築並 軍官氏

合 同 演習 演習 視察 陸地橋築並 軍官氏

三 一 二 三 聯隊長殿 陸地橋築並 軍官氏 担任 陸地橋築並 視察

陸地橋築並 視察

八月五日

日曜日

伊豆國學校

一 本部並 各隊 陸地橋築練業

二 一 二 三 聯隊長殿 陸地橋築並 軍官氏 担任 陸地橋築並 視察

合 同 演習 演習 視察 陸地橋築並 軍官氏

三 一 二 三 聯隊長殿 陸地橋築並 軍官氏 担任 陸地橋築並 視察

陸地橋築並

時刻	課目	場所	備
一 一 〇 〇	出向	營門	特扶金員 陸地橋築並 視察
一 一 〇 〇	伺候式	營庭	町 曹長 畑 貴生
一 一 〇 〇	情況報告	新營庭上	屋上 陸地橋築並 視察
一 一 〇 〇	休憩	營庭	陸地橋築並 視察
一 一 〇 〇	會食	兵舍	特扶金員
一 一 〇 〇	退場	營門	町 曹長 畑 貴生
一 一 〇 〇	退場	營門	町 曹長 畑 貴生

陸地橋築並 視察

一 陣地既先取、大隊、兩便對戰準備、橋本半洞窟  
家屋、二部、若者等、

二 對戰準備、橋本隊員以下左記、

本 隊

隊員長

諸江 大尉

本 員

高橋 中尉

司

山手 中尉

司

尾崎 中尉

司

鈴木 (清) 少尉

三 半洞窟家屋、各隊員、取敢、一、九、月、十、日、明、迄、橋、本、

各隊員、計畫、之、橋、本、半、洞、窟、隊、員、等、橋、本、隊、員、等、

全般、統制、計畫、之、橋、本、半、洞、窟、隊、員、等、廣、瀬、少、尉、於、行、之、

四 各隊、前項、半洞窟家屋、宛、取、敢、之、後、直、向、戰、場、

東、北、陣、地、一、部、陣、地、附、近、集、積、之、且、前、項、家、屋、之、所、要、

兵員、派遣、ス、シ

五 前項、兵員、使用、前項、計畫、之、橋、本、半、洞、窟、隊、員、等、

六 對戰準備、橋本隊、各隊員、兵員、約、半、數、

七 半洞窟家屋、橋本隊、各隊員、兵員、約、五、分、

八 對戰準備、橋本隊、各隊員、兵員、約、半、數、

九 對戰準備、橋本隊、各隊員、兵員、約、半、數、

十 對戰準備、橋本隊、各隊員、兵員、約、半、數、

守備隊長

西村 大尉

十一 對戰準備、橋本隊、各隊員、兵員、約、半、數、

十二 對戰準備、橋本隊、各隊員、兵員、約、半、數、

十三 對戰準備、橋本隊、各隊員、兵員、約、半、數、

十四 對戰準備、橋本隊、各隊員、兵員、約、半、數、

十五 對戰準備、橋本隊、各隊員、兵員、約、半、數、

十六 對戰準備、橋本隊、各隊員、兵員、約、半、數、



八月三十日  
月曜日晴  
伊江村國民  
學校

下達法 命令受領者 署名、口達者 署名

- 一 本部並各隊之檢査係責
- 二 各隊隊長及隊員之檢査係責
- 三 一四〇〇番以上之軍醫命令受領者檢査係責
- 四 午後九時前本部軍醫以下二〇名檢査係責
- 五 一〇〇番以上之衛隊隊長及隊員之檢査係責
- 六 所見之檢査、所見別紙附録表
- 七 演習計畫表
- 八 防務給本部並各隊隊員檢査係責

八月十九日  
火曜日晴  
伊江村國民  
學校

七 速射砲中隊陸軍兵長三好秋男名護陸軍療養所入所中、處本日退所歸隊  
八 現在人員左ノ如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二七	九二	五五七	六七六

- 一 本部並各隊之檢査係責
- 二 伊江村民士之檢査係責
- 三 聯隊長及隊員之檢査係責
- 四 速射砲中隊陸軍兵長三好秋男名護陸軍療養所入所中、處本日退所歸隊
- 五 防務給本部並各隊隊員檢査係責
- 六 所見之檢査、所見別紙附録表
- 七 演習計畫表
- 八 防務給本部並各隊隊員檢査係責



伊江島地区敬言備隊

# 敬言 備 狀 况

## 伊江島地区敬言備隊

附録第一

昭和十九年八月一日

一		警備隊本部		警備隊長	高橋 徳
二		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
三		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
四		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
五		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
六		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
七		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
八		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
九		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
十		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
十一		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
十二		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
十三		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
十四		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
十五		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
十六		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
十七		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
十八		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
十九		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
二十		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
二十一		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
二十二		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
二十三		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
二十四		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
二十五		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
二十六		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
二十七		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
二十八		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
二十九		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
三十		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
三十一		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
三十二		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
三十三		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
三十四		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
三十五		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
三十六		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
三十七		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
三十八		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
三十九		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
四十		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
四十一		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
四十二		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
四十三		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
四十四		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
四十五		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
四十六		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
四十七		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
四十八		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
四十九		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳
五十		警備隊本部		警備隊副長	高橋 徳

附録第一

伊勢田第四號

警備狀況

昭和一九一八年  
田島北區警備隊

軍紀風紀

軍紀ハ嚴正ニ維持セラレ風紀又良好ニシテ普島以來未ダ事故發生ナ見ズ得  
兵士氣概ハ旺盛ニシテ任務ニ邁進シツクナリ

陣地構築

陣地構築ハ警備隊將兵普島以來約三週間ニ亘ル連日奮闘シ部落民積極的  
的ニ奉仕協力ニ依リ凡ソ陣地ヲ克服シ普島トシテ豫期ノ如ク進捗シタ  
リ然レ共莫クモ物量ヲ以テ侵攻ノ企圖スル米寇ニ對スル戰術ヲ考フルトモ對戰  
準備水際障礙物ノ設備未ダ整ハル現在ニテ陣地構築ハ極メ不充分ナルヲ  
以テ更ニ陸上ノ氣ヲ旺盛ニシ各種障礙物ノ構築ノ勿論火銃其他各種兵器ノ  
徹底中心構築準備ニ關シ遺憾ナク注意ヲ拂ヒ近キ將來全島ニ對シテ

教育訓練

警備隊教育訓練ニ關シテ精進ノ旨ヲ示シ警備隊長列級ノ如ク一月一日前下將

對敵之訓練(詳見參照)

(一)陣地構築、進行、目下猛訓練、實地、其生動、如左

左記

1. 各種狀況下ニ於ケル挺身奇襲、動作

2. 對戰車肉薄攻撃

3. 隊長以下、全員肉薄攻撃キルニ主眼

(二)我軍ヲ恣ニ不意急襲的ニ肉薄攻撃ヲ以テ敵戰車ヲ攻撃スルヲ要領

4. 對戰車射撃(一發心中、射撃技能、養成ニ主眼トス)

5. 一般中隊、重火器トノ協同

6. 至近距離ニ於ケル熾烈ナル火力、發揚ト伴、短切ニ其後ニ進行スルヲ要領

要領

7. 火焰發射ニ對スル防衛動作

8. 各種狀況地形下ニ於ケル手習、用法

9. 村落内ニ於ケル戰鬥要領

1. 圍壁ヲ利用シテ敵ノ側背ニ迫ル動作

2. 突出鬼没的行動、慣熟特ニ奇襲急襲、要領

3. 村落内ニ於ケル人壕(塹壕)ヲ利用シテ行、急襲要領

4. 警戒

監視及報告、要領特ニ敵襲ニ對スル動作

(三)教育訓練ニ在リテハ、練習用具、自隊ニ於テ調製シテ用シツマリ

四 警備、機要

(一)部隊ノ直接防禦、連、連ヲ備シテ、外海岸地帯中ニ、各隊、担任ニ應ニ本機(機要)

ヲ設クシ

(二)常時對陸軍、海軍、空軍ニ對シテ射撃部隊、敵ノ設備、諸機要ニ備マリ

(三)陣地構築、警戒、進行、退却、警戒、部隊ノ移動、其初動ヲ制シ、得

ル如ク、準備、完全ニシ

五 警備、演習

警備隊の各隊毎に個々ニ又警備隊長及統籌のニ警備隊員ヨリ種々一週一回  
晝實能中ナリ飛行場大隊防衛隊青年會其他一般市民等凡ニヨリ包含  
スル軍官民合同警備演習ニ近ノ警備隊長統籌のニ演習隊員ナリ

六其他

(一) 本島ニハ「マニヤン鑛石」相富ヨリ見本ニ送付スル將吏等ヨリ隊員ニ演習  
セシメラルノ可トセシ

(二) 航空用燃料タル「原水」種鑛石ハ本警備隊長統籌(一)軍江島本部今歸仁村(ニ其  
墨東大十)

附錄第二

訓

示

訓示

伊江島警言備ニ着手以來既ニ二旬餘軍紀風紀極メテ  
 嚴正衛生成績又優秀ナルハ余ノ欣快トスル處ナリ  
 時局更ニ緊迫ノ徴アルニ鑑ミ左記項目ニ関シ要望ス  
 一軍紀風紀

- 軍紀ハ軍隊成立ノ大本ニシテ戦力ノ基礎タル旨ヲ深ク銘肝シ常ニ嚴正ナル軍紀ノ維持ニ関シ留意スベシ
- 命令ノ實行及實行報告ヲ確實迅速ニスベシ
- 幹部ノ指揮權ノ承行ハ最モ嚴正ナルベシ
- 幹部以下熾盛ナル責任觀念ヲ以テ事ニ當ルベシ
- 團結ヲ鞏固ニスベシ
- 士氣ヲ常ニ振作シ且風紀ヲ良好ニスベシ
- 信賞必罰ヲ勵行スベシ

訓練

各隊ハ常ニ「ハブ」ニ對スル血清注射液ヲ準備シ猛烈ナル夜間(晝間)ノ訓練ヲ實施スベシ

訓練上要望スル課目左記ノ如シ

各種状況下ニ於ケル挺身奇襲ノ動作

對戰直内迫攻撃(隊長以下全員内迫攻撃ヲタシ、主義、徹底)

對戰車射撃

一般に勝ト重火器トノ協同戦闘ノ要領

最近距離ニ於ケル熾烈ナル火力ノ發揚ト之ニ伴フ短切ニシテ機微ニ

應スル迎襲要領

敵ノ火焰發射ニ對スル防衛動作

各種状況地形下ニ於ケル手榴彈ノ用法

村落内ニ於ケル戰鬥要領

圍壁ヲ利用シテ敵ノ側背ニ迫ル動作

神出鬼没的行動ノ慣熟特ニ奇襲急襲ノ要領

村落内ニ於ケル一人壕(塹壕)ヲ利用シテ行フ急襲要領

警戒

監視及報告ノ要領特ニ敵襲ニ對スル動作

陣地構築

本島ガ殆ト全地域ニ亘リ珊瑚礁タルト資材ノ不足等陣地構築ニハ甚條件タリシガ着目以未連日連夜ニ亘ル諸子ノ奮勵努力ニ據リ前記ノ障害ヲ克服シテ今ヤ第一期工事ノ概成ヲ見ントシ猛訓練ト相俟テ着々トシテ作戰準備ノ完整シツ、アルハ國家ノ為慶賀ニ堪エズ諸子ノ勞ヲ多トス然レドモ莫大ナル物量ヲ以テ侵攻ヲ企圖スル米鬼ニ對スル陣地構築ヲ目標トスルトキ今日迄ニ構築セシ陣地ハ未ダ初期ノ域ヲ出テス水極度ニ不足シ入浴絶無ニテ疲勞ノ回復容易ナラザル不自由ナル生活下ニ連日連夜ニ亘リ奮闘シツ、マル諸子ノ疲勞ハ察スルニ餘リアリ同情ヲ禁スル能ハザルモ現下益々急迫シツ、アル時局ハ一日ノ愉安ヲモ許サズ諸子ハ現ニ激戰ヲ交ヘツ、アル大宮島或ハ「テニマン」島ノ戰友ヲ愧ビ且戰場勤務ノ特性ヲ認識シテ燃ユルガ如キ忠誠心ヲ喚起シ創意ニ勉メ益々陣地ノ強化ヲ圖リ全島ヲ要塞化スルコトニ更ニ大ナル努力ヲ傾注



スヘシ  
特ニ火砲各種糧食糧品ノ掩蔽處置ヲ完全ニシ又創意ノ下ニ各種障害  
物ヲ構築スルニトニ勉ムベシ

四 衛生

既ニ要ムニ至リ注意シマシル事項ヲ確實ニ履行シ着島以來今日迄持續セ  
ル優秀ナル衛生成績ヲ更ニ持續スル如ク幹部以下努力スヘシ

五 經理

非違事項ノ絶無ニ關シ終始注意スベシ  
經理當事者ハ特ニ對外關係(人馬車輛ノ備入レ及物資ノ購入)ニ於  
テ微細事項ヨリモ警備隊長ニ報告スルコトヲ勵行スベシ

之ヲ要スルニ諸子ハ軍人トシテノ最後ノ御奉公ヲコノ地ニ於テ  
果スベク決意シ益々士氣ヲ旺盛ニシ事ニ當ルベシ  
既ニ  
歴々上司ヨリ受ケタル諸訓示ヲ再三再四直ニ想起シ之

ガ具現ニ勉メ深刻ナル時局ノ突破ニ邁進セントス諸子  
又奈ノ心ヲ以テ心トシ一切ノ障害ヲ克服シ責任觀ニ徹シ  
愈々燃ユルガ如キ忠誠心ヲ發揮シテ任務ノ完遂ニ最  
大ノ努力カヲ傾注センコトヲ望ム

昭和十九年七月三十日

伊江島地區警備隊長 西村信義

西村信義

西村部隊調査報告書

昭和十九年八月三十日

大ノ野ノニ駐在スルノコトヲ察知シテ  
急々ニ其ノ地ニ向テ進軍シテ其ノ地ニ至リテ  
又余ノ以テ其ノ地ニ向テ進軍シテ其ノ地ニ至リテ  
其ノ地ニ至リテ其ノ地ニ向テ進軍シテ其ノ地ニ至リテ

附録第三

昭和十九年八月

# 兵要地誌調査計畫

西村部隊

西 崎 新

# 兵要地誌調査信書

昭和二十三年八月

## 兵要地誌調査実施計畫

### 一、目的

獨逸二年作爲調査基礎、警備地區、兵要地誌ヲ調査ス

### 二、調査項目

1. 飛行場施設 (現在實施中)	2. 海岸 (特種艦隊、艦隊、斷崖)	3. 地圖 (地形、道路、橋、新設施設)	4. 河川、湖沼	5. 森林、農地、田圃、状況	6. 給水源、状況	7. 砲台、自衛隊、關スル	8. 調査要領	9. 調査要領
------------------	--------------------	----------------------	----------	----------------	-----------	---------------	---------	---------

### 三、調査實施要領

- 1. 調査要領、編成
- 2. 調査要領
- 3. 調査要領
- 4. 調査要領
- 5. 調査要領
- 6. 調査要領
- 7. 調査要領
- 8. 調査要領
- 9. 調査要領

委員表

陸軍大尉	諸江春美
陸軍中尉	竹田政雄
陸軍少尉	鈴木清
陸軍曹長	井上一三
陸軍中尉	佐喜雄次

日	曜日	事項	備考
16	水	準備資料	
17	木	調査	
18	金	調査	
19	土	調査	
20	日	調査	
21	月	調査	
22	火	調査	

備考

①②③………第二項調査項目区分ヲ示ス

④⑤⑥………調査ハ雨天ト雖モ實施ス

3. 調査班、擔任區域  
附圖、如シ

4. 調査及整理要領

1. 調査ノ重要ハ、燈臺—伊江島地區トスルモ、全地域ニ亘リ精確ヲ期スルモノトス
2. 調査事項整理ノ後當日ニテ時迄ニ諸江大尉ノ許ニ提出スルモノトス
3. 整理ノ爲、用紙ハ別ニ配布ス

四、其他

新設燈臺ニ就テ準備資料ヲ獲得シ又ハ地方人ヲ活用シ本調査ノ補助ニ充テルモノトス

調査ノ結果ニ基キテ調査班ノ活動ニ關スルモノトス

只踏查ニ當リテハ馬又ハ百騎軍ニ様  
ハ、危寄豫防及「心」ニ留意スレモ、トリス之ガ為最獨行動ヲ察ス

二十一日正午迄

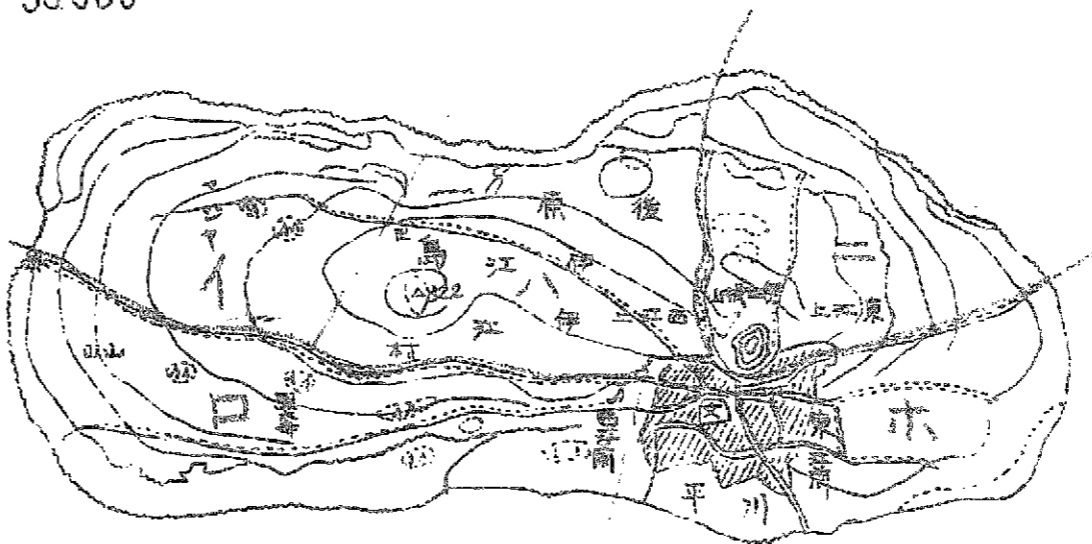
以上

以上ノ如キニテハ、  
○ 第一、馬軍ニ對シテハ、  
○ 第二、馬軍ニ對シテハ、  
○ 第三、馬軍ニ對シテハ、  
○ 第四、馬軍ニ對シテハ、  
○ 第五、馬軍ニ對シテハ、  
○ 第六、馬軍ニ對シテハ、  
○ 第七、馬軍ニ對シテハ、  
○ 第八、馬軍ニ對シテハ、  
○ 第九、馬軍ニ對シテハ、  
○ 第十、馬軍ニ對シテハ、

軍事訓練ノ爲メ 陸軍省 陸軍部 陸軍監理官 陸軍監理官 陸軍監理官

# 調査擔任區域圖

↑  
50000



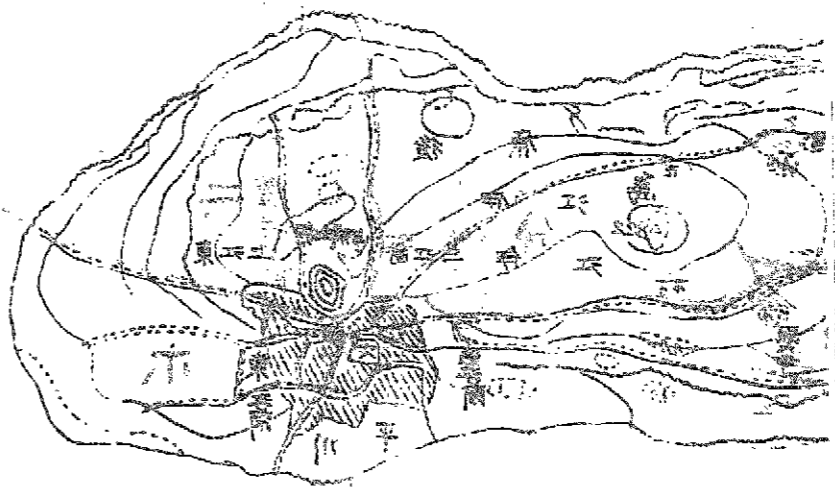
備考  
一、擔任

イ	口	ハ	ニ	ホ
諸江大尉	竹田中尉	鈴木少尉	諏佐軍曹	井上警長

二、要領

1. 各官ハ自己中隊ヨリ傳令ヲ伴フモノトス
  2. 經路ハ各官ニ於テ計畫スルモノトス
  3. 境界ノ道路(線)ハ東側又ハ南側ノ者ノ擔任トス
  4. 携行資材
    - イ 取鏡
    - ロ 磁石
    - ハ 網(約三十米)
    - ト 其他所要資材
- 三、棒

陸軍合同警備演習計畫



昭和一九年八月二日  
 陸軍合同警備隊  
 司令部

附表  
 第一

官	補助官	統	定	想	課	目
官	官	統	定	想	課	目
諸江大尉	關井中尉	尾崎中尉	鈴木中尉	佐藤中尉	佐藤中尉	佐藤中尉
村長	助	役	役	役	役	役
青軍學校長	青軍學校長	青軍學校長	青軍學校長	青軍學校長	青軍學校長	青軍學校長

軍民合同警備演習計畫

昭和一九年八月二日  
 陸軍合同警備隊

主要課目

- 一 警備隊本部之戰鬥動作演習
- 二 防衛隊青年學校生徒之警備隊協同動作
- 三 一般民衆之待避訓練

一 敵八百來可數機、編隊以飛行場學校及伊江城山附近に空襲を敷回し、  
 實施す。

二 昨日來り本島、西及び南方海上に猛烈な艦砲射撃を實施し、敵一部を西方  
 海面に上陸せしめ、同日、山部等の敵機を撃墜す。

統制官、警備隊長、飛行場長、地方地区、飛行場大隊長、統制官、  
 敵地区、補助官、飛行場大隊長、於て演習、警備隊本部、統制官、  
 地区演習補助官、左記、

左記

諸江大尉 關井中尉 尾崎中尉 鈴木中尉 佐藤中尉  
 村長 助 役 役 役 役 役  
 青軍學校長 青軍學校長 青軍學校長 青軍學校長 青軍學校長

持 導 要 領 概 考 備

<p>考 備</p> <p>一般民衆ハ別命ナク十七時三十分ヨリ十九時ニ至ル間ハ附近ノ待避場ニ入ルモトス</p>	<p>一 八月十六日十六時三十分ヨリ十七時三十分ヨリ 非武装民衆ヲ以テ大差ニ因テ本隊ニ分團連打スルコト命圖ニヨリ 警備隊ハ八月十一日十六時三十分ヨリ各中隊長ヲ指揮シテ既備ヲ整ヘテ 同時青年會(男女)及防衛隊ハ役場前附近ニ集合シ其行動ハ別命ヲ根據隊分 携行</p> <p>二</p> <p>三 一般民衆ハ十七時三十分ヨリ十九時迄待避場ニ入ルモトス</p> <p>四 第七中隊第中隊一小隊機關銃一小隊 取隊砲一分隊 男子青年學校生徒ハ對抗軍 上八時十五時迄分役場前ニ集合シ高橋中尉ヲ指揮シテ對抗軍隊ヲ退避行動ヲ行ハス</p> <p>五 一般ニ澤原ハ携行セラルトス 糧秣ハ二分携行 服裝ハ軍裝ニテ背囊ヲ除ク</p> <p>六 村長以下地方團ノ補助官ハ民間側ノ行動ヲ担任スルモトス 主トシテ待避所ニ於ケル 姿勢行動並待避場ノ適否ヲ檢スルモトス</p> <p>七 在野軍人分會長 警備團長ハ役員若干名ヲ又青年學校長ハ青年學校職員 若十名ヲ補助官ニシテ得</p> <p>八 軍隊補助官ハ民間側ノ待避訓練ヲモ合セ兵檢スル</p>
---	---



附表第二

獨混一五作命第十一號ニ基テ  
爆破作業教育計畫  
昭一九二七.七.二一  
獨混一五聯隊

目的

中頭地區陸隊地構築作業ニ必要ナル爆破ノ取扱並ニ岩石爆破作業ノ各中隊選拔將校以下ニ對シ教育シ作業ノ基礎要員ヲ養成スルニ

教育關係者

工兵中隊長 北村中尉 被 教  
器材班 佐藤伍長 各中隊 將校ニ  
作業手 若干名 育 告 同 各小隊 下官ニ  
被 教 三 服 作業ニ便ナル輕裝  
(特刀)劍)上着ヲ除  
キ地下足袋トス

日次時間

主要教育事項

指導事項

摘 要

器 材

一三〇〇  
一八〇〇

基礎的  
觀念  
一 爆破作業ノ注意スベキ件  
二 爆藥及火具ニ就テ

一 黃色藥 導爆索ノ取扱  
二 集團梱包爆藥ノ作求  
(木製爆管)  
三 雷氣雷管 導電線ノ接續  
四 臭火機 導通試驗機ニ就テ

學科ニ止ムル  
モ勉メテ現  
物ヲ研究セシム

導火索  
導電線  
雷管  
黃色藥  
臭火機  
集團梱包  
木製爆管

〇八〇〇  
一一〇〇

取扱  
一 導火雷管ト導火索トノ接續  
二 導火索ト「マシ」トノ接續  
三 「クイ」ト「クイ」トニ臭火具ノ装着  
(時ニ内視ニ注意セシムルト共ニ)  
取扱ヲ慎重問題ヲラシム

一 穿孔藥堂ノ作求法  
二 最小抵抗線ノ求メ方  
三 爆藥ノ裝入要領並ニ裝藥要領  
四 臭火雷管並ニ雷管要領  
五 雷管ニ付テハ「クイ」ト「クイ」トニ雷管ニ雷管  
時ニ注意ス

各人一箇ヲ  
作求セシム

導火索  
雷管  
「クイ」ト「クイ」ト  
一〇〇モ  
麻絲マシチ  
若干

一八〇〇  
一五〇〇

爆破  
一 前回は、教育準備ニ基キ各中隊毎ニ岩石爆破作業ヲ一通リ實施セシム

一 前回は、教育準備ニ基キ各中隊毎ニ岩石爆破作業ヲ一通リ實施セシム

石工手ヲシテ  
實施セシム  
爆藥ニ對シテ  
誤差シ置テ

石工具  
一組  
爆藥  
若干  
水

〇八〇〇  
一六〇〇

綜合教育

一 前回は、教育準備ニ基キ各中隊毎ニ岩石爆破作業ヲ一通リ實施セシム

前回は、教育準備ニ基キ各中隊毎ニ岩石爆破作業ヲ一通リ實施セシム

前回は、教育準備ニ基キ各中隊毎ニ岩石爆破作業ヲ一通リ實施セシム

備考

1. 教育ハ七月下旬第二大隊ニ八月下旬第一大隊ニ對シ實施セントス  
2. 教育間本教育關係者ハ一所ニ集結宿泊給養ヲ受クモトス

第二十七野戰防疫給水部第三作業班編成表

衛 少				班長
梅	存	廣	男	室 別
給	水	班	檢	主任
	見衛	衛	衛	附
	齊藤 信男	高松 正男	梅本 廣男	下士官
	衛 衛 衛	衛	衛	
	清水 正八	佐野 隆吉	野田 泰一	
	服部 專一			
	水野 順老			
	山梨 敏彦			
兵	上	上	上	兵 科
渡邊 剛作	佐々木 嘉男	堀崎 頼春	杉山 武春	原 要作
國島 恒利	吉田 春一	和田 春夫	伊藤 春夫	堀場 幹夫
立松 清茂	中村 清博	黒野 留一	佐々木 良彦	
朝原 藤吉	和久 田武	山田 憲三		
貝谷 幸一	船橋 政敏	小野 文四郎	望月 信雄	衛生 兵
廣瀬 久建	早川 富久	稻垣 武男		
				藤原 照次
				鈴木 忠雄

隊名	隊内		隊外	隊員	隊長	隊員	隊員	隊員	隊員
	班長	班員							
第一隊	...	...	...	...	...	...	...	...	...
第二隊	...	...	...	...	...	...	...	...	...
第三隊	...	...	...	...	...	...	...	...	...
第四隊	...	...	...	...	...	...	...	...	...
第五隊	...	...	...	...	...	...	...	...	...
第六隊	...	...	...	...	...	...	...	...	...
第七隊	...	...	...	...	...	...	...	...	...
第八隊	...	...	...	...	...	...	...	...	...
第九隊	...	...	...	...	...	...	...	...	...
第十隊	...	...	...	...	...	...	...	...	...

第三十六回 隊内交合の倍第三十回 業務訓練の隊

附表第四

大隊内務検査講評

一 勅諭ニ就テ

一般ニ勅諭暗誦ハ徹底シマス。然カモ要旨ハ概テ理解シ、更ニ記憶ヲ徹底シ、理解ヲ深刻ニシ、勅諭ノ實際ニ努ルコト要ス。

二 火災豫防ニ就テ

各隊ハ防火用水、防火筒砂用意ナシ。遠シ準備スル。但シ、獨逸中隊、ハ完備ニシテ、良好ナリ。

消火班ヲ編成シ、ハ、獨逸中隊、他隊ハ、編成ナシ。

各隊共ニ吸殻、ノ、創意工夫ニテ使用シ、ハ、可ナリ。

三 貴重品取扱ニ就テ

- ① 兵ニ多額ノ金銭ヲ所持シ、ハ、マリ、棒給ニ、前分、金、ナシ。
- ② 貴重品、所持法、適當ナラズ、マリ、内務掛、指導ス。
- ③ 作業時、ハ、浴等、場合、貴重品、取扱ニ、特ニ注意マ、要ス。

四 清潔整理頓ニ就テ

...

附表  
第五

項	注	令	想
演 目	注 意	考 備	考 備
一 演習指揮陣地活用 二 村陣内ニ於テ挺身奇襲ノ動作 三 對戰車攻撃動作ノ一部 四 部隊内ニ於テ「トローナ」ノ利用 五 敵機ヲ誘引シテ撃トス	一 本月十日以降敵ノ機ノ編隊ヲ以テ飛行場附近ニ對シテ數次ニ巨リ爆撃ヲ實施セリ 二 本月二十日以東連日「巨」西北南方面ヨリ盤砲射撃ヲ實施シ「マ」敵ハ二十五日九時頃迄カヲ以テ 三 本島西岸ヨリ上陸シ四下敵ノ軍中隊第九中隊陣地直前ニ近迫本陣地ニ對シテ砲撃中ナリ 四 敵砲彈ノ落座ハ石灰ノ飛散ヲ以テ示ス 五 敵陣地ノ射撃ハ赤旗ヲ以テ示ス	一 飛行警備中隊ノ幹部ト、演習細部打合ハ二十五日九時ヨリ現地ニ於テ行フ 二 補助官ノ打合ハ二十五日十七時ヨリ記念碑山ニ於テ又聯隊本部諸官(補助官)ニ對スル指示ハ二十六日夕刻行フ 三 其他自軍諸軍行動ノ細部ハ各々其々長ニ對シテ指示ス	一 演習指揮陣地活用 二 村陣内ニ於テ挺身奇襲ノ動作 三 對戰車攻撃動作ノ一部 四 部隊内ニ於テ「トローナ」ノ利用 五 敵機ヲ誘引シテ撃トス
演 練	德 目		
一 旺盛ナル責任觀念 二 戰意ノ昂揚			

軍民合同警備演習計畫

昭一九八二七  
伊江島守備隊

- 一 夜間非常場合ヲ考慮シ器具、迅速ニ装着得ル如ク準備シ置クヲ要ス
- 二 飯盒ト靴ト近接シ置クハ適當ナリ
- 三 保育衛生ニ就テ
  - 一 防疫、徹底
  - 二 防疫防蟻 便所右反消毒ニ更ニ勵行ス
  - 三 山保、育
- 四 履以ニ入隊長注意並ニ衛生會報ニ於テ徹底ニ幹部ノ率先保育徹底期シ  
各隊ノ速ニ療養ノ設置又及藥劑子ノ破損修理ヲ創意ニ更ニ勵行ス
- 五 六 書類ニ就テ
  - 一 内務命令備付ノ書類整備充分ナリ各隊ヲ特別示教育人事等關シ書類整備備多
- 六 七 部隊長訓示理解ニ就テ
  - 一 先ニ行ハル訓示理解不充分モアリ各隊長セテ徹底ヲ圖ルヘシ
  - 二 之ヲ要スル今次檢査成績各隊長以下幹部ノ努力依リ其成績概シ良
  - 三 好ルモノ認ル前各項如キ欲スル行キ即時矯正内務ヲ確實ニ實行スルヲ要ス

昭和十九年八月二十五日  
大隊長 西村大尉

第一編 第一卷 第一編 第一卷 第一編 第一卷 第一編 第一卷 第一編 第一卷 第一編 第一卷



附錄

總記、備考

一、伊江島守備隊、第一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

備考

一、伊江島守備隊、第一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

伊江島守備隊

一、伊江島守備隊、第一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

軍用合同警備演習計畫書

附錄第四 昭和十九年八月二十日

第二回軍官民合同敬言備演習講評

伊江島守備隊